

現状及びリスクの把握

本校は、江戸川区の西に位置している。海拔－2.2 mであり、津波浸水区域である。

校舎は昭和37年に建設されている。耐震基準に関しては平成8年の調査で耐震基準を満たしていた。校舎北西には戸建て住宅が密集しており、南東には集合住宅が多くある。南西方向には商店街があり、地震後の火災の有無を確認した上で下校指示を出す必要がある。また近くにはＪＲ総武線の平井駅があり、バス停も近いことから、避難所開設の際は、多くの避難者が来校することが予想される。

学校の現状（令和7年4月10日現在）

児童・生徒数		教職員数
全校児童・生徒		
<u>471</u> 名		
第1学年	<u>85</u> 名	<u>37</u> 名
第2学年	<u>74</u> 名	
第3学年	<u>93</u> 名	
第4学年	<u>90</u> 名	
第5学年	<u>56</u> 名	
第6学年	<u>73</u> 名	

校舎	昭和37年建設
○登校時刻	午前8時10分～8時20分
○下校時刻	午後2時25分～3時25分
○昇降口	西昇降口：3・4・6年生 中央昇降口：1・2・4年生 東昇降口1・2・5年生
○登下校時の環境	校舎東門、西門から登下校

学校の立地環境

- 学校の立地
 - ・ 海拔 －2.2 m（江戸川区ハザードマップにより津波浸水区域）
 - ・ 交通 校舎の南側に ゆりのき橋通り（都営バスの停留所あり）
校舎の南側徒歩10分のところにＪＲ総武線平井駅
 - ・ 公園 校舎から西10メートル先に平井東児童遊園がある
- 自然的環境
 - ・ 校舎の南10 kmに東京湾が広がっている
 - ・ 校舎の東300メートルに荒川が流れている
- 社会的環境
 - ・ 学区全体的に戸建ての住宅が多い
 - ・ 学区の南西側は昔からの住宅が多く、商店街もある
 - ・ 学区の南東側200メートル先には変電所がある。